

第三者保証

当社は、「ダスキン統合レポート2023」に開示する情報の信頼性、正確性を高めるため、
 主要な非財務指標に関して、独立した第三者評価機関の保証を受けています。

第三者保証の対象項目

- ・従業員数(グループ)
- ・女性管理職比率・人数(単体)
- ・男性育児休業取得率(単体)
- ・障がい者雇用率(国内グループ)
- ・エネルギー使用量(加盟店・協栄工場含む)
- ・CO₂排出量(スコープ1, 2, 3)
- ・取水量(生産事業所)

独立第三者の保証報告書		2023年6月30日
株式会社ダスキン 代表取締役 社長執行役員 大久保 裕行 殿	株式会社サステナビリティ会計事務所 代表取締役 福島隆史	
<p>1.目的 当社は、株式会社ダスキン（以下、「会社」という）からの委嘱に基づき、2022年度末のグループ従業員数 3,739 人、女性管理職比率・人数（単体）13.1%・47 名、男性育児休業取得率（単体）100.0%、障がい者雇用率（国内グループ、2022年6月1日時点）2.82%、2022年度エネルギー使用量（加盟店・協栄事業所含む）2,342 千 GJ、再生可能エネルギー利用率 2.5 %、CO₂排出量 スコープ1: 16 千 t-CO₂、スコープ2（マーケットベース）：15 千 t-CO₂、スコープ3（カテゴリ 1,2,3,4,5,6,7,11,12,13,14）：423 千 t-CO₂e、取水量 2,137 千 m³（生産事業所）（以下、総称して「パフォーマンス指標」という）に対して限定的保証業務を実施した。本保証業務の目的は、パフォーマンス指標が会社の定める算定方針に従って算定されているかについて保証手続を実施し、その結論を表明することにある。パフォーマンス指標は会社の責任のもとに算定されており、当社の責任は独立の立場から結論を表明することにある。</p>		
<p>2.保証手続 当社は、国際保証業務基準 ISAE3000 ならびに ISAE3410 に準拠して本保証業務を実施した。当社の実施した保証手続の概要は以下のとおりである。 ・算定方針について担当者への質問 ・算定方針の検討 ・算定方針に従ってパフォーマンス指標が算定されているか、試査により入手した証拠との照合並びに再計算の実施</p>		
<p>3.結論 当社が実施した保証手続の結果、パフォーマンス指標が会社の定める算定方針に従って算定されていないと認められる重要な事項は発見されなかった。</p>		
会社と当社との間に特別な利害関係はない。		以上

「ダスキン統合レポート2023」発行にあたり

当社では中長期的な価値創造の全体像や成長戦略、ESGの取り組み等、財務情報と非財務情報を一体的に報告する統合レポートを2017年3月期から発行しています。また、本年より企業価値の向上を目指した取り組みについてコンパクトにまとめた「ダイジェスト版」も発行いたしました。（2023年7月発行）

本レポートは、株主・投資家をはじめとするステークホルダーとの対話を深めるための大切なツールであり、ダスキンだからこそ表現できる「喜びのタネまき」を通して、中期経営方針2022で目指す姿や、これから創出される新たな価値を解説し、経営理念への変わらぬ理解とダスキンの未来に対する期待感を醸成していただけるよう心掛けました。

本レポートは、経営企画部 IR室が編集の中心となって社内の関係部署と協力して制作しました。私は編集責任を担う経営企画部担当執行役員として、その作成プロセスが正当であり、かつ記載内容が正確であることを表明いたします。

本レポートが対話創出のきっかけとなり、当社に対する理解をより一層深めていただけると幸いです。皆様からの忌憚のないご意見、ご要望をお待ちしています。

2023年9月
 執行役員
 経営企画部 部長
江村 敬一

用語集

あ行
<p>祈りの経営 ダスキンの経営理念。働きさん一人ひとりが、日々新しく生まれ変わる(自己変革する)ことを願い、自らは敢えて「損の道をゆく」こと、相手に対しては「喜びのタネをまく」こと。ともすれば経済的合理主義を追求し、人間性全体を見失いがちな世の中で、ダスキンは人間性を何よりも大切にしたいという宣言でもあります。</p> <p>お客様係／訪問販売員 ご家庭にレンタル商品等をお届けする全国の販売員。長期戦略「ONE DUSKIN」では、お客様のニーズに対して的確な対応と新たな提案の強化に取り組んでいます。</p>
か行
<p>加盟店会 加盟店と本部とは一心同体の関係、運命共同体であるという考えから発足した任意団体。同じ志を抱く本部と加盟店、あるいは加盟店同士が、時に励まし合い、時に助け合い、ともに成長しようと結成されました。</p> <p>コンタクトセンター 2018年に「ダスキンコールセンター」から「ダスキンコンタクトセンター」に変更し、電話(0120-100-100)だけでなく、メールやチャット等のチャネルを横断的に管理・運営し、お客様満足度を高められる顧客接点の総合窓口を目指して取り組んでいます。</p>

さ行
<p>生産事業所／協栄工場 回収したダストコントロール商品をクリーニング、再生加工、配送物流まで一貫してサポートしている工場。業務委託契約を交わしている協栄工場と直営・関係会社工場(全国45事業所)で稼働しています。</p> <p>全国チェーン店お客様売上高 国内外直営店・子会社等売上高にフランチャイズ加盟店の推定値を合計した売上高。ダスキンファミリーがお客様にお届けした「喜びのタネ」のパロメーターともいえます。</p>
た行
<p>ダスキン(社名の由来) 「ホコリ」の英語である「ダスト」の「ダス」に、「ぞうきん」の「キン」を合わせたところから生まれた社名です。</p> <p>ダスキンスクール ダスキンの全事業を対象とした総合研修センター。経験豊富な教育スタッフ陣と広範な研修カリキュラムを完備し、人の成長をサポートしています。</p> <p>ダスキンファミリー 株式会社ダスキンとその連結子会社・持分法適用会社に加え、フランチャイズ契約で結ばれた加盟店・協栄工場を含む、ダスキンの経営理念に賛同するすべての組織・運命共同体。</p> <p>ダストコントロール商品 水を使わずにホコリを吸着保持する機能を持った清掃用具。主に、モップやマットに応用されています。</p> <p>ダストコントロール事業 海外では事業の1つとして展開。国内では現在訪販グループグリーンサービス事業のカテゴリーの1つとして「ダストコントロール」と表現しています。</p> <p>DDuet(ディーデュエット) 訪問販売で直接会えないお客様との接点としてダスキンが運営する会員制Webサイト。商品のご注文等を承るのはもちろん、家事が楽になるアイデアやキャンペーンのお知らせなど、お役立ち情報を発信しています。</p>

特定商取引法 事業者による違法・悪質な勧誘行為等を防止し、消費者の利益をまもることを目的とする法律。訪問販売については、勧誘を断った消費者への再勧誘の禁止等のルールが定められています。
は行

ハイジーンマスター 衛生管理に関する高度な専門知識を有するスペシャリスト。ダスキンでは、独自の育成・認定制度を設け、総合的な衛生管理の提案を行っています。
働きさん ダスキンでは、「社長も一般社員も働く立場で見れば同じ」という考えから、社員のことを「働きさん」と呼びます。“傍(はた)を楽(らく)にすることのできる人”という意味も込められています。

フランチャイザー／フランチャイジー ダスキン本部(フランチャイザー)と、全国のダスキン加盟店(フランチャイジー)の間には、一貫したシステムや契約の結びつきだけではなく、「ダスキン経営理念への賛同」というつながりが存在します。ダスキン本部と加盟店が信頼の絆で固く結ばれ、「喜びのタネをまこう」というスローガンを共有し、運命共同体として、ともに成長していくことがダスキンの目指したフランチャイズです。
--

フランチャイズシステム 日本ではダスキンが先駆的に導入したビジネスモデル。すべての事業は、開始時に提供されるフランチャイズパッケージとしてマニュアル化され、ビジネスのノウハウでは経営や活動、教育等のほか、運営や営業等充実した内容となっています。そのため、どの店舗でも同じ品質のサービスを提供できるようシステム化されています。
--

ま行
マネジャー／エリアマネジャー 加盟店を運営と経営の両面からサポートする本部社員。各加盟店を育成・指導するほか、経営課題を発見し、適切なアドバイスをする役割も担っています。
ミスタードーナツカレッジ 1971年、ミスタードーナツ1号店のオープン直後にダスキン創業の地に完成した教育施設。ライセンス取得に必要な設備が完備されています。
ミスタードーナツ創業の日 1970年1月27日、創業者・鈴木清一が、ミスタードーナツの日本での展開をアメリカで決断した日。毎年、全国のショップ近隣での清掃活動と売上の一部を障がいのある方たちの自立や社会参加に役立てるために「ダスキン愛の輪基金」に寄付をしています。

道と経済の合一 「道」は人に対して思いやる気持ちややさしさといった、時代が変わっても変えてはいけないことを、「経済」は時代に合わせて商品やサービスを変革していくことを指します。この2つをバランスよく両立させ、持続的な成長を追求することがダスキンのすべての企業活動の原点となっています。
--

や行
よつ葉のクローバー(社章) DUSKINの頭文字「D」と幸福のシンボルである「よつ葉のクローバー」をデザインした社章。社員が「仕事・家庭・趣味・信仰(感謝と反省の心)」を持ち、幸せな人生が送れるようにとの願いが込められています。
ろ行

ロイヤルティ 商標等の使用料及びノウハウ授与の対価として、フランチャイズ加盟店にお支払いいただくお金。ほとんどの事業で売上歩合方式(売上に対して何%という金額を支払う方式)を採用しています。

会社情報

会社概要

社名	株式会社ダスキン(DUSKIN CO.,LTD.)	設立	1963(昭和38)年2月4日
本社	〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1番33号	資本金	113億円(2023年3月31日現在)
代表者	代表取締役 社長執行役員 大久保 裕行	従業員数	3,739名(連結)、1,989名(単体)(2023年3月31日現在)

関係会社 (2023年3月31日現在)

■ 訪販グループ ■ フードグループ ■ その他

連結子会社

(国内)			
■ (株)ダスキンサーヴ北海道	■ (株)ダスキン宇都宮	■ (株)EDIST	■ (株)ダスキンプログラクト九州
■ (株)ダスキンサーヴ東北	■ (株)ダスキン伊那	■ (株)和倉ダスキン	■ エムディフード(株)
■ (株)ダスキンサーヴ北関東	■ (株)ダスキン越前	■ (株)小野ダスキン	■ エムディフード東北(株)
■ (株)ダスキンサーヴ東海北陸	■ (株)ダスキン八代	■ (株)ダスキンプログラクト北海道	■ エムディフード九州(株)
■ (株)ダスキンサーヴ近畿	■ (株)ダスキン鹿児島	■ (株)ダスキンプログラクト東北	■ (株)かつアンドかつ
■ (株)ダスキンサーヴ中国四国	■ (株)ダスキンシャトル東京	■ (株)ダスキンプログラクト東関東	■ (株)エバーフレッシュ函館
■ (株)ダスキンサーヴ九州	■ アザレプロダクツ(株)	■ (株)ダスキンプログラクト西関東	■ ダスキン共益(株)
■ (株)ダスキン沖縄	■ 共和化粧品工業(株)	■ (株)ダスキンプログラクト東海	■ (株)ダスキンヘルスケア
■ (株)ダスキン十和田	■ 中外産業(株)	■ (株)ダスキンプログラクト中四国	

(海外)		
■ 楽清香港有限公司	■ 楽清(上海)清潔用具租賃有限公司	■ Big Apple Worldwide Holdings Sdn. Bhd.

持分法適用関連会社

(国内)	
■ (株)ナック	
(海外)	
■ 楽清服務股份有限公司	■ 統一多拿滋股份有限公司

主な社会からの評価

ダスキンのESG(環境・社会・ガバナンス)分野の取り組みは、SRI(社会的責任投資)評価機関や各種組織・団体から、多くの評価や表彰を受けています。

FTSE Russell [FTSE Blossom Japan Sector Relative Index]	FTSE Blossom Japan Sector Relative Index	SOMPOアセットマネジメント [SOMPOサステナビリティ・インデックス]	2023 Sompo Sustainability Index
FTSE Russell [FTSE Blossom Japan Index]	FTSE Blossom Japan	環境省 [ESGファイナンス・アワード・ジャパン]	2023 ESG FINANCE AWARDS JAPAN
MSCI社 [MSCI 日本株女性活躍指数(WIN)]	2023 CONSTITUENT MSCI日本株女性活躍指数(WIN)	株式会社三井住友銀行 [ポジティブ・インパクト金融原則適合型ESG/SDGs評価融資]	ESG/SDGs AWARDS
MSCI社 [MSCI ジャパン ESGセレクト・リーダーズ指数]	2023 CONSTITUENT MSCIジャパン ESGセレクト・リーダーズ指数	経済産業省 [健康経営優良法人2023~ホワイト500~]	2023 健康経営優良法人 ホワイト500
JPXグループ [S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数]	S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数	日本経済新聞社 [Smart Work 経営]	NIKKEI Smart Work ★★★★★ 2023

社会からの評価

<https://www.duskin.co.jp/sus/evaluation/>



株式情報

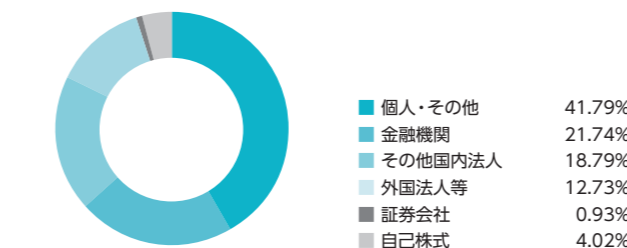
株式の状況 (2023年3月31日現在)

決算期	3月31日
定時株主総会	6月中
証券コード	4665
上場証券取引所	東京証券取引所(プライム市場) ※ 東京証券取引所の市場区分見直しにより2022年4月より市場第一部からプライム市場に移行しました。
1単元の株式数	100株
発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式の総数	50,994,823株(自己株式2,051,028株含む)
株主数	49,151名(前期末比1,379名増)
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
独立監査人	EY新日本有限責任監査法人

大株主 (上位10名)

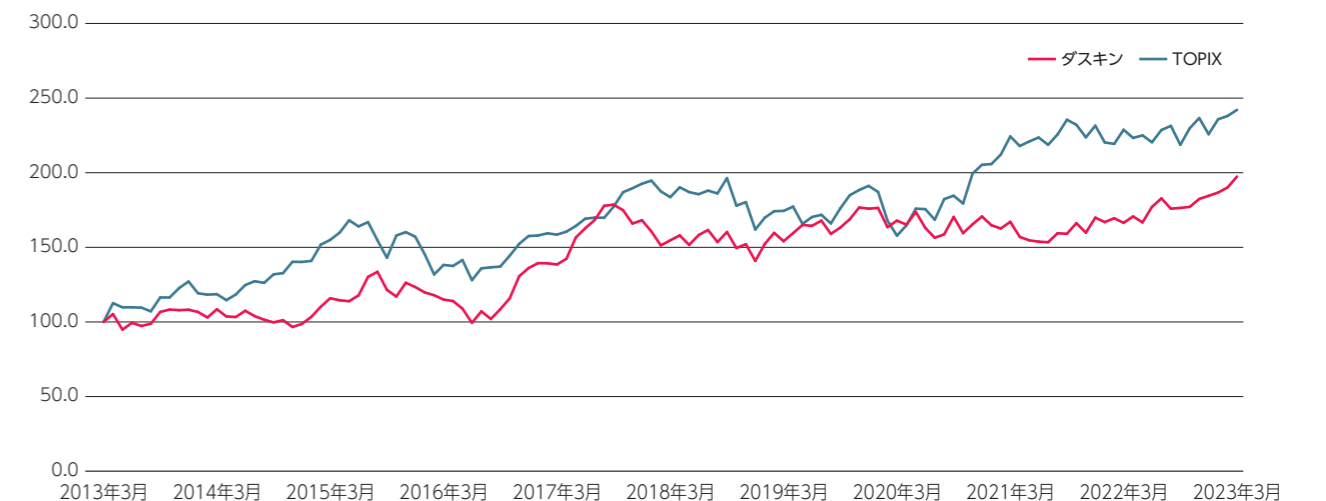
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,625	13.53
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,371	4.84
株式会社ニッポン	1,800	3.67
ダスキン働きさん持株会	1,611	3.29
小笠原 浩方	1,415	2.89
ダスキンFC加盟店持株会	1,155	2.36
株式会社三井住友銀行	840	1.71
株式会社モスフードサービス	760	1.55
住友不動産株式会社	749	1.53
大和ハウス工業株式会社	700	1.43

所有者別の株式分布状況



1. 当社は、自己株式を2,051,028株所有しておりますが、上記大株主からは除外しております。なお、自己株式には、従業員持株会信託型ESOPの信託財産として株式会社日本カストディ銀行(信託口)が所有する当社株式447,500株を含んでおりません。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株価パフォーマンス(10年、配当込み)



株価パフォーマンス(Total Shareholders' Return)

	1年		3年		5年		10年	
	累積	年率	累積	年率	累積	年率	累積	年率
ダスキン	121.9%	106.2%	119.7%	106.2%	130.0%	105.4%	198.5%	107.1%
TOPIX	105.8%	115.3%	153.4%	115.3%	131.8%	105.7%	242.1%	109.2%

※ Total Shareholder's Return (TSR): 株主総利回り。キャピタルゲインと配当を合わせた総合投資収益率
※ TSRの計算は、ダスキンは累積配当額と株価変動により、TOPIXは配当込の株価指数により算出(Bloomberg データ、日本取引所グループ月報「3. 株価指数・株価平均」等)により当社作成
※ グラフの値は、2013年3月末日の終値データを100としてTSRによる時価を指数化したもの